＜令和９年度　研究助成課題の募集のご案内＞

公益財団法人 高速道路調査会では、総合研究委員会のもとに組織する３つの研究部会（経済・経営研究部会、道路・グリーンインフラ研究部会、交通・サービスクオリティ研究部会（**≪参考≫**参照）において、高速道路に関する調査研究活動を行っています。これらの研究活動を推進する一環として、関連する調査研究活動に対し広く一般に研究助成を実施しています。**特に、これから高速道路に関する研究を発展させようとする若手・中堅研究者による、新規性・発展性のある研究課題の積極的な応募を期待しています。**

つきましては、令和９年度の研究助成について研究課題を募集しますので、応募される方は募集要領に従い応募申請書を提出して下さい。

研究助成募集要領

１．助成対象とする研究

高速道路等に関連する社会的、経済的、技術的な課題の研究、並びに、高速道路の高度化、付加価値の創出、サービス向上につながる研究とします。ただし、その内容が、既に研究成果が公表されているもの、または既に公表された研究成果から容易に導き出されるなど、独創性・発展性を有しないものは対象外とします。

２．研究期間

令和９年４月から令和１０年３月までの１年間を原則とします。

ただし、当初に提出いただく研究計画において妥当と認めた場合は、最長２年までの延長を可とします。その場合、下記９．③での研究成果の報告は中間報告として行っていただき、最終年度に正規の最終の研究成果の報告をしていただきます。

３．応募資格

上記１．の研究を主として行う者であることとします。また、複数機関からの助成により研究を行う場合も応募可能としますが、応募者の責任で助成を受ける他機関の了承を得るものとし、当法人から受ける助成金の使途については、他機関の研究内容と重複しないこととします。

大学院生や特任研究員が研究代表者となることも可能ですが、その場合は必ず指導教員若しくは受入教員を共同研究者としてください。

４．助成金額

１件あたりの助成上限額は 300 万円とします。また、助成金総額は概ね 1,500 万円程度とします。

５．応募方法

応募申請書に必要事項を記入の上、募集期間内にＥメールで提出して下さい（応募申請書は、当法人ウェブサイト（https://www.express-highway.or.jp/assist/research.html)からダウンロードして下さい)。

なお、希望する研究部会は次項の≪参考≫を基に、①経済・経営研究部会、②道路・グリーンインフラ研究部会、③交通・サービスクオリティ研究部会、④複数の研究部会に跨るもの、のいずれかを応募申請書に記入してください。④の場合は、当法人より申請者の意向を確認の上で①～③のいずれかに振り分けます。また、①～③いずれかをご記入の場合でも、内容により当法人にて別の研究部会に変更させていただくことがございます。

６．募集期間

令和８年 11 月 16 日(月)から令和９年１月 20 日(水)までとします。

７．選考の方法

各研究部会委員による審査結果をもとに各部会で選考し、総合研究委員会において決定します。審査項目は**≪参考≫**をご覧下さい。

８．結果の通知

助成者決定後、応募者に採・否の結果を通知します。

なお、審査の結果、助成金額を減額して採択する場合があります。

９．助成研究を行う者の義務等

①研究成果について、令和 10 年 5 月末までに以下（イまたはロ）のいずれかを選択し、同年 7 月末までに当法人の機関誌『高速道路と自動車』へ提出又は投稿。

イ）「報告」として提出（Ａ４版４ページ程度（約 5,000 字））

ロ）「研究論文」として投稿（レフェリー審査付き、Ａ４版６ページ程度（約 8,000 字））

②当法人が主催する研究発表会（令和 10 年夏又は秋開催予定）において、研究成果を発表（発表資料は、当法人ウェブサイト上でも公表予定）。

③当法人の研究部会（令和 10 年度秋又は冬開催予定）において、研究成果を報告。

④研究成果を他機関で発表または投稿する場合（講演会、学会誌、機関誌等）は、当法人の研究助成対象であることを明記するとともに発表論文（写し）等、発表または投稿した内容を当法人まで送付。

⑤①～③については、上記２.研究期間に応じて、別途、通知します。

お問い合わせ・応募先

〒105-0001　東京都港区虎ノ門 2-3-17　虎ノ門 2 丁目タワー10 階　公益財団法人 高速道路調査会

経済・経営研究部会：狩野（かのう）

道路・グリーンインフラ研究部会：市岡（いちおか）

交通・サービスクオリティ研究部会：平田（ひらた）

TEL　03-6550-9115　　FAX　03-6550-9117

E-mail　kenkyu-josei@express-highway.or.jp

（応募申請書に関するお問い合わせは、募集期間内の平日 9 時から 17 時の間で対応いたします。）

≪参　考≫

１．各研究部会の所掌範囲

① 経済・経営研究部会

高速道路整備による経済効果、有料道路制度、総合交通政策および道路事業の推進や枠組み、関連する法令などについての調査研究（キーワード：「経済効果」、「道路制度」、「料金」、「経営」、「総合交通政策」および「道路事業の関連法令等」）

② 道路・グリーンインフラ研究部会

高速道路の建設と維持管理、景観、環境および道路緑化の向上と啓発、防災（ハード系）についての調査研究（キーワード：「道路本体構造」、「施設」、「道路建設」、「維持管理」、「景観」、「環境」、「カーボンニュートラル」、「道路緑化の向上と啓発」および「防災（ハード系）」）

③ 交通・サービスクオリティ研究部会

高速道路の交通安全対策、利用者へのサービス、道路機能、道路の高度活用、防災（ソフト系）についての調査研究（キーワード：「高速道路交通の技術」、「情報提供」、「利用者へのサービス」、「道路・休憩施設の機能・活用」、「道路の高度活用」、「防災（ソフト系）」、「観光」および「次世代モビリティ（自動運転・コネクテッドカー、次世代 ITS、５G 等）」）

④ 複数の研究部会に跨るもの

高速道路の高度化、付加価値の創出、サービス向上につながる調査研究（キーワード：「ICT・AI」、「データ活用」等）で、①～③のうち複数の研究部会を横断するテーマ

当法人より申請者に意向を確認の上で①～③のいずれかに振り分けます。

２．審査項目

① 目　的：研究の目的が明確に示されており、研究内容が高速道路等に関連するものであること。

② 公益性：当法人の活動趣旨に鑑み、研究内容が広く一般国民に還元されるなど、公益性を有するものであること。

③ 貢献度：研究手法の信頼性が高く、研究成果が実用的で社会に貢献することが期待されるものであること。

④ 独創性・発展性：研究内容が優れた独創性・高い発展性を有するものであること。

⑤ 方法の妥当性：研究の方法が妥当性を有するものであること。

３．審査委員

各研究部会の委員が審査委員を務めます。審査委員につきましては、別紙①から③をご覧ください。

以上

＜参考＞令和８年度研究助成課題

経済・経営研究部会関係

○ 高速道路休日割引の３連休適用除外拡大が九州の広域観光来訪に与える影響-人流ビッグデータを用いた地域類型別の因果評価と次世代料金施策への含意-

○ 高速道路開通の物流と輸送費用に対する影響

道路・グリーンインフラ研究部会関係

○ CO2 を固定化した材料による盛土材・地盤を改良する技術の開発に関する研究

○ 凍結防止剤散布環境下にある高速道路 RC 床版の内部腐食・損傷を非破壊で可視化する電気インピーダンストモグラフィ技術の構築

○ ワイヤアーク積層造形を用いた道路橋における腐食鋼部材の補修と再利用に関する研究

○ 高速道路上部空間のグリーンインフラ化による社会的便益の統合評価

交通・サービスクオリティ研究部会関係

○ 高速道路の予防的通行止め実施時の交通行動に関する研究－商用車プローブデータを用いた実態把握－

○ 大規模災害時の高速道路における被災状況・通行機能をリアルタイムに把握するための SAR 衛星画像と深層機械学習を用いた道路状態・交通量推定技術の開発

○ 高速道路工事規制始端部における動的車線運用による交通容量・安全性評価に関する研究

○ 動画像の動きベクトルを活用した超低演算量な非通常交通の検出に関する研究

別紙①

【審査委員】経済・経営研究部会

令和8年10月1日現在(敬称略)

	氏　名	所属機関・役職名
部会長	根本　敏則	敬愛大学情報マネジメント学部特任教授
委員	加藤　一誠	慶應義塾大学商学部教授
委員	竹内　健蔵	東京女子大学現代教養学部教授
委員	田邉　勝巳	慶應義塾大学商学部教授
委員	手塚広一郎	日本大学経済学部学部長教授
委員	寺田　一薫	福島学院大学マネジメント学部教授
委員	二村真理子	東京女子大学現代教養学部教授
委員	山内　弘隆	一橋大学名誉教授
委員	野村　浩	元㈱ネクスコ東日本エンジニアリング 代表取締役社長
高速道路会社委員	渡邊　正彦	東日本高速道路株式会社 執行役員 経営企画本部 経営企画部長
高速道路会社委員	塩梅　崇	中日本高速道路株式会社 経営企画本部 経営企画部長
高速道路会社委員	田中哲也	西日本高速道路株式会社 経営企画本部 経営企画部長
高速道路会社委員	尊鉢丈裕	首都高速道路㈱ 計画・環境部長
高速道路会社委員	濱田　禎	阪神高速道路株式会社 計画部長
高速道路会社委員	荻野宏之	本州四国連絡高速道路株式会社 企画部長
事務局	橋本　太郎	公益財団法人高速道路調査会　常務理事・研究第二部長
事務局	安部　馨	公益財団法人高速道路調査会　審議役・研究第一部長
事務局	狩野　禎久	公益財団法人高速道路調査会　研究第一部 部長代理
事務局	白土　新	公益財団法人高速道路調査会　研究第一部 担当部長

別紙②

【審査委員】道路・グリーンインフラ研究部会

令和8年10月1日現在(敬称略)

	氏　名	所属機関・役職名
部会長	西村　和夫	東京都立大学 名誉教授
委員	高橋　修	長岡技術科学大学 工学部　量子原子力系　教授
委員	若井　明彦	群馬大学大学院　理工学府　環境創生部門　教授
委員	舘石　和雄	名古屋大学大学院　工学研究科　土木工学専攻　教授
委員	長山　智則	東京大学大学院　工学系研究科　社会基盤学専攻　教授
委員	八木　知己	京都大学大学院　工学研究科　社会基盤学専攻　教授
委員	中村　光	名古屋大学大学院　工学研究科 土木工学専攻 教授
委員	藤山　知加子	横浜国立大学大学院　都市イノベーション研究院 教授
委員	山本　早里	筑波大学　芸術系　教授
委員	小野　隆	日本大学　非常勤講師
委員	飯島　健太郎	東京都市大学　環境学部 教授・学部長
委員	青澤　正樹	東日本高速道路(株)技術・DX本部　技術・環境部長
委員	水門　直仁	中日本高速道路(株)技術本部　環境・技術企画部長
委員	大城　壮司	西日本高速道路(株)技術本部　技術環境部長
委員	荒平　裕次	(株)高速道路総合技術研究所 道路研究部長(兼)交通環境研究部長
委員	篠井　隆志	首都高速道路(株)更新・建設部長
委員	伊藤　学	阪神高速道路(株)技術部長
委員	遠藤　和男	本州四国連絡高速道路(株)長大橋技術部長
事務局	橋本　太郎	公益財団法人 高速道路調査会　常務理事・研究第二部長
事務局	坂本　香	公益財団法人 高速道路調査会　総括研究員
事務局	市岡　隆興	公益財団法人 高速道路調査会 研究第二部 担当部長
事務局	平田　恭介	公益財団法人 高速道路調査会 研究第二部 主幹
事務局	前原　慎也	公益財団法人 高速道路調査会 研究第一部 副主幹

別紙③

交通・サービスクオリティ研究部会

令和8年10月1日現在(敬称略)

	氏　名	
部会長	大　口　　敬	東京大学 生産技術研究所　教授
委　員	赤　羽　弘　和	千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科 教授
委　員	大　原　美　保	東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター 東京大学　生産技術研究所　教授
委　員	越　村　俊　一	東北大学 災害科学国際研究所　教授
委　員	野　口　洋　平	愛知淑徳大学　交流文化学部　教授
委　員	日比野　直　彦	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻 教授
委　員	室　町　泰　徳	東京科学大学　環境・社会理工学院　教授
委　員	森　本　章　倫	早稲田大学 創造理工学部　教授
委　員	内　田　　彩	東洋大学　国際観光学部　国際観光学科　准教授
委　員	橘　　孝　則	前田道路(株)　執行役員 営業本部　常務理事
委　員	上　村　　治	東日本高速道路(株)　管理事業本部　保全部長
委　員	八木澤　秀　行	東日本高速道路(株)サービスエリア・新事業本部　サービスエリア事業部長
委　員	山　本　　隆	中日本高速道路(株) 保全企画本部　交通担当部長
委　員	小田切　須　美	中日本高速道路(株) 事業開発・推進本部 サービスエリア事業部長
委　員	池　田　　宰	西日本高速道路(株) 保全サービス事業本部 保全サービス事業部長
委　員	滝　口　裕　司	西日本高速道路(株)　事業開発本部　事業開発部長
委　員	尊　鉢　丈　裕	首都高速道路(株) 計画・環境部長
委　員	江　川　典　聰	阪神高速道路(株) 保全交通部長
委　員	田　村　　正	本州四国連絡高速道路(株) 保全部長
委　員	荒　平　裕　次	(株)高速道路総合技術研究所　道路研究部長(兼) 交通環境研究部長
事務局	橋　本　太　郎	公益財団法人 高速道路調査会　常務理事・研究第二部長
事務局	坂　本　　香	公益財団法人 高速道路調査会　総括研究員
事務局	平　田　恭　介	公益財団法人 高速道路調査会 研究第二部 副主幹